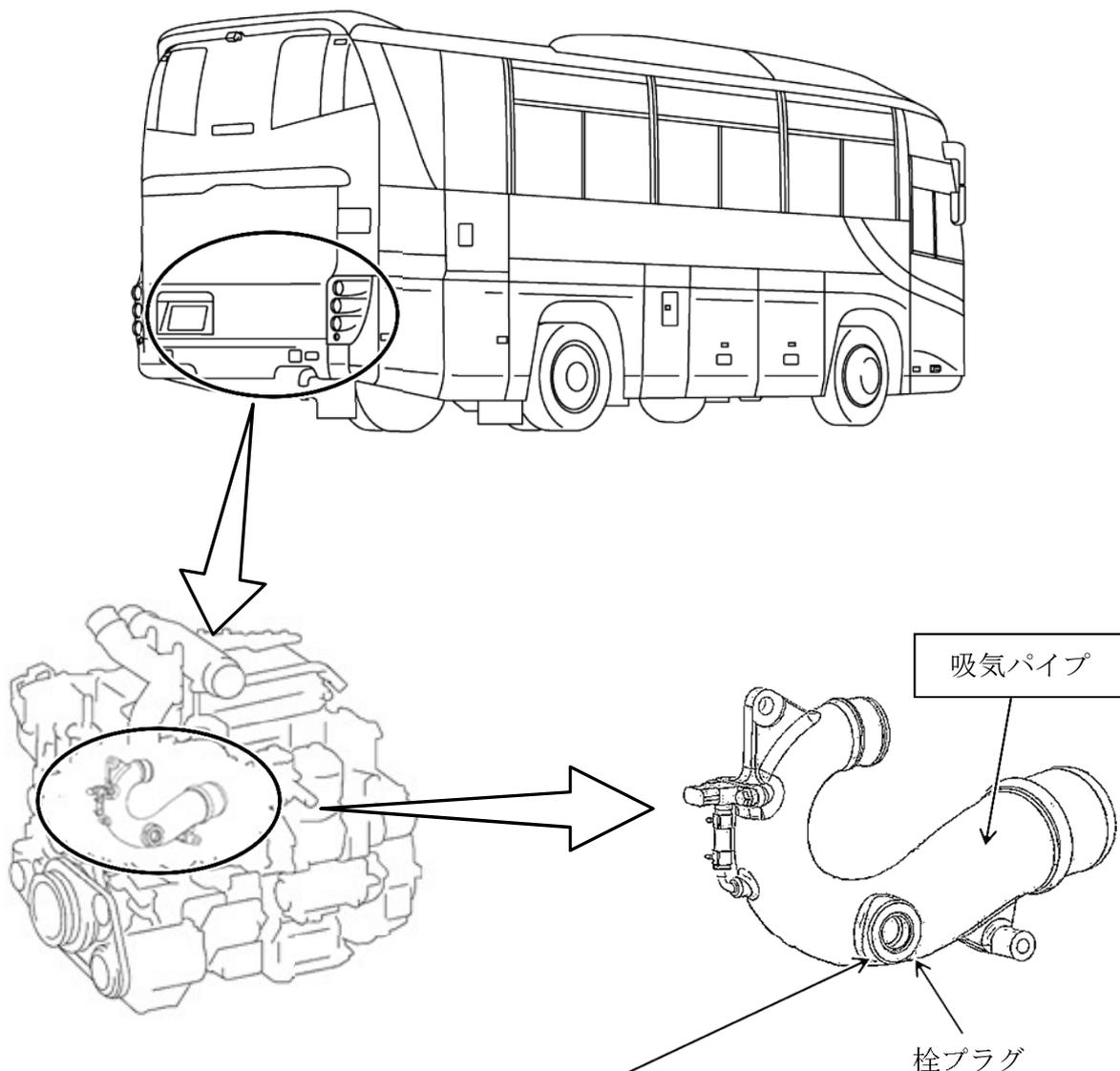


改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所

大・中型バスにおいて、エンジンの吸気パイプの栓プラグの取付け構造が不適切なため、高負荷走行時の内圧により当該プラグが抜け、走行中にエンジン出力が低下するとともに栓プラグが路上に脱落するおそれがある。

改善の内容:

全車両、吸気パイプ一式を対策品に交換する。

識別： シリンダヘッドカバーに白色ペイントを塗布する。

注： は交換する部品を示す。